



3月の安全就業重点事項

近道・省略行動を しない、許さない



<具体的推進事項>

- ① 先輩がまず良い手本を見せる
- ② お互いに注意し合える関係を作る
- ③ 慌てているときこそ深呼吸「安全第一！」

① 近道行動、省略行動とは

近道行動とは、本来ならすべきことを「何らかの事情」によってしないことをいいます。わざと行わない場合もあれば、うっかりし忘れる、強制的にさせられない場合もあります。「急がなくては」という気持ちから引き起こされる行動です。

省略行動とは、本来すべき手順の一部を省略して目的を達成しようとすることです。定められた手順やマニュアルを守らず、早く簡単に済ませてしまおうとすることです。「面倒だ」という心理が省略行動を引き起こしていると言われています。

「近道・省略行動」 危険度チェック



あなたの現場は大丈夫？

日本キャピラー
「安全への視角」から一部改変

個人の気持ちや油断だけでなく、就業班の雰囲気や就業環境も近道・省略行動を招く要因になっています。あなたの就業現場の危険をチェックして安全な現場づくりに取り組みましょう。

●チェックリスト

- 単調な作業の繰り返しや、同じ通路の往復が多い。
- 道具や機材が遠い場所にある。決まったところに置いていない。
- 納期(工期)が厳しく、仕事をせかされることが多い。
- ちょっとしたミスは、お互いに目をつむるようにしている。
- ベテラン会員と若手会員が、言いたいことが言える雰囲気ではない。
- 安全マニュアル通りに就業していると、周囲から笑われる。
- 安全活動や安全教育が、形だけでマンネリになっている。
- 就業現場は効率優先で、安全は後回しだ。皆がそう思っている。

判定

- 0 個…………… 優秀です。今の状態を維持しましょう。
- 1～3 個……… あと少し！チェックの付いた項目をすぐに改善しましょう。
- 4～6 個……… 注意が必要です。大きな事故につながる前に早めの対策を！
- 7 個以上……… 危険がすぐそこに！全員で一斉見直しを！

◆事故の発生状況◆ 平成 30 年度

	平成 31 年 2 月発生分	年度 累計	前年同月 発生分
傷害事故	1	9	0
賠償責任事故	0	8	0
計	1	17	0

② お互いに注意し合える関係と雰囲気をつくりましょう

近道・省略行動等の不安全行動を見かけたら、先輩・後輩や年齢に関係なく気軽に注意できるよう、日頃からオープンな人間関係を作るように心掛けましょう。

③ まずは先輩がお手本を！

「自分が年上だから」「技術が高いから」と口だけで不安全行動を指摘するのでは反発を招きかねません。率先垂範。まず先輩が進んで行動し、手本を示しましょう。

④ 指差呼称を習慣づけましょう

安全への意識レベルを高め、不注意によるミスを防ぐために、指差呼称をしっかりと行いましょう。



安全優良会員に学ぶ「自己コントロール」の方法

危険な省略行動をしないように、自分を律する知恵として、安全就業の優良会員による次のような心がけに学びましょう。

①「自分は手抜きをしないから事故を起こさない」と常に言い聞かせる

＝多くの事故が手抜きから起こっていることを意識する。

②「皆が合図しないから」等と他人のせいにしない

＝他の車が合図しないから自分も省略していいだろうとは考えない。

③急いでいるときこそ落ち着いて確実に操作する

＝慌てると確認行動などを省略しがちなので、気持ちに余裕をもって行動する。

④指差呼称を取り入れる

＝「後方よし」などと指差確認して、一つひとつ安全を確かめる習慣をつけておく。

⑤行動する前に「ひと呼吸置く」

＝常に間をとる行動習慣をつけて、すぐに次の操作をしないように心がける。

⑥123など数を数えて省略を防ぐ

＝安全確認をする時は、ワン（前方）・ツー（側方）・スリー（後方）と数を数えリズムを付けて必ず全方位を確認する。



アレルギー対策をしましょう ～花粉症は治療で軽症化できる～

毎年春が来ると、花粉の飛散に悩まされるという人が少なくありません。自動車運転中や機械操作中のくしゃみや鼻水は安全面にも影響しますので、早めの適切な対策が重要です。

今年のスギ花粉飛散については、3月上旬から4月上旬がピークと言われています（※日本気象協会WEBページ）。

花粉症などのアレルギー疾患は耳鼻科や内科などに早めに受診して予防治療をしておく、重症化を免れます。

不快な症状は生活環境の変化や加齢とも関係がありますので、早めに受診して、医師のアドバイスを受けておきましょう。特に、車を運転される方、就業で機械を操作される方はその旨を必ず医師に伝えましょう。

また、花粉やハウスダストなどのアレルギー原因物質が咽頭炎や気管支炎などの咳を誘発することがあります。特に冬場にインフルエンザや長期の風邪をひいた人は、粘膜が荒れていてアレルギー症状が出やすくなっているため、風邪が治って暖かくなっても、マスクなどの自衛手段で粘膜を守ることが大切です。長く咳が続くのを、風邪がこじれたと思っていたら、実は気管支ぜんそくの初期症状だったということもあるそうですので、警戒しましょう。



傷害事故	2月23日 7:30頃	75歳 男性	スーパーマーケットにて 台車で荷物を運搬中 、スイングドアを後ろ向きに通過しようとしたところ、 ドア固定部分と壁の間の隙間に右手の甲を挟み、擦り傷と切創を負った。
------	----------------	-----------	---